

#3  
S&H Form: (2/01) 12MB  
12-5-01

Attorney Docket No. 1405.1043

**IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE**

In re Patent Application of:

Kazuki MATSUI, et al.

Application No.:

Group Art Unit:

Filed: May 15, 2001

Examiner:

For: COMMUNICATION INTERMEDIATING METHOD, INTERMEDIATING DEVICE, AND  
COMMUNICATION DEVICE

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN  
APPLICATION IN ACCORDANCE  
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55**

Assistant Commissioner for Patents  
Washington, D.C. 20231

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicant(s) submit(s) herewith  
a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2000-395734

Filed: December 26, 2000

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing  
date(s) as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the  
requirements of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,

STAAS & HALSEY LLP

Date: May 15, 2001

By: 

James D. Halsey, Jr.  
Registration No. 22,729

700 11th Street, N.W., Ste. 500  
Washington, D.C. 20001  
(202) 434-1500

©2001 Staas & Halsey LLP

日 本 国 特 許 庁  
PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

Jc868 U.S. PTO  
09/855775  
05/16/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日  
Date of Application: 2000年12月26日

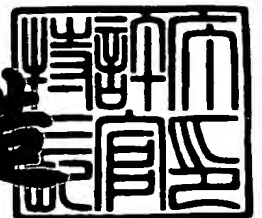
出 願 番 号  
Application Number: 特願2000-395734

出 願 人  
Applicant(s): 富士通株式会社

2001年 3月 2日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3015226

【書類名】 特許願

【整理番号】 0095248

【提出日】 平成12年12月26日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 17/00

【発明の名称】 通信仲介方法、仲介装置及び通信装置

【請求項の数】 5

【発明者】

    【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

    【氏名】 松井 一樹

【発明者】

    【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

    【氏名】 西山 聡一

【発明者】

    【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

    【氏名】 神田 陽治

【特許出願人】

    【識別番号】 000005223

    【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

    【識別番号】 100094145

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 小野 由己男

    【連絡先】 0 6 - 6 3 1 6 - 5 5 3 3

【選任した代理人】

    【識別番号】 100094167

【弁理士】

【氏名又は名称】 宮川 良夫

【選任した代理人】

【識別番号】 100106367

【弁理士】

【氏名又は名称】 稲積 朋子

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 020905

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9807456

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 通信仲介方法、仲介装置及び通信装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザ端末がネットワーク上の仮想空間を共有して行う通信を仲介するための通信仲介方法であって、

前記ユーザ端末にネットワークリソースの表象を持たせ、

前記仮想空間の識別子と前記表象の識別子とを対応付けた対応テーブルを予め準備し、

前記ユーザ端末と通信可能であり、かつ前記表象の識別子と仮想空間の識別子とを、前記対応テーブルに基づいて変換可能な仲介端末を設け、

前記ユーザ端末から前記仲介端末に、前記表象の識別子を送信し、

前記仲介端末から前記ユーザ端末に、前記表象に対応する仮想空間の識別子を通知し、

前記ユーザ端末は、前記通知された仮想空間の識別子に基づいて前記仮想空間に参加し、同一の表象を有する他のユーザ端末との通信を開始する、

通信仲介方法。

【請求項 2】

ネットワーク上のユーザ端末間の通信を仲介するための仲介装置であって、

前記ユーザ端末が参加して互いに通信する仮想空間の識別子と、ネットワークリソースの表象の識別子とを対応付けて記憶する対応テーブルと、

前記ユーザ端末から前記表象の識別子を受信する第 1 受信手段と、

前記対応テーブルに基づいて、前記受信した表象に対応する仮想空間の識別子を、前記ユーザ端末に送信する第 1 送信手段と、

を有する仲介装置。

【請求項 3】

前記対応テーブルは、前記仮想空間の識別子と、前記表象の識別子と、前記表象に対する興味の度合いと、を対応付けて記憶しており、

前記第 1 受信手段は、前記ユーザ端末から、前記表象の識別子及び前記興味の

度合いを受信し、

前記第 1 送信手段は、前記対応テーブルに基づいて、前記受信した表象の識別子と興味の度合いとの組み合わせに対応する仮想空間の識別子を、前記ユーザ端末に送信する、

請求項 2 に記載の仲介装置。

【請求項 4】

ネットワーク上のユーザ端末に用いられる通信プログラムが記録されたコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、

ネットワークを介してネットワークリソースの表象を取得し選択可能に表示するステップと、

ユーザにより選択されたネットワークリソースの表象の識別子を仲介装置に送出するステップと、

仲介装置において予めネットワークリソースの表象と仮想空間が対応付けられて記憶されている対応テーブルに基づいて送出したネットワークリソースの表象の識別子に対応する仮想空間の識別子を受信するステップと、

受信した仮想空間に識別子に基づいて当該仮想空間に接続し会話を開始するステップと、

を含むことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 5】

商品情報交換支援方法であって、

予め商品と商品に関する情報を交換する仮想的な会話空間とを対応付けた対応テーブルを用意しておき、

商品を識別可能に表示するために商品毎に用意される表象をネットワークを介してユーザ端末に選択可能に提示し、

ユーザ端末において選択された商品の表象を識別し、

前記対応テーブルに基づいて当該商品に対応付けられている仮想的な会話空間を識別するための情報を取得してユーザ端末に通知し、

ユーザ端末において他のユーザ端末と当該商品に関する情報の交換を開始することを可能とすることを特徴とする商品情報交換支援方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、インターネットなどのネットワーク上で提供される情報サービス、例えばオンラインショッピングサービスや情報検索サービスに関する。

【0002】

【従来の技術】

インターネットの利用が急速に広まり、コンピュータの専門知識を持たない一般ユーザも、情報検索やオンラインショッピングなどのネットワークサービスを、今や当たり前のように利用している。また、携帯電話の普及により、携帯電話からのインターネットアクセスも急増している。インターネットへのアクセスは、各種ウェブブラウザを用いることがほとんどである。しかし、ウェブブラウザは、コンピュータの操作に不馴れなユーザにとっては、メニューが多く操作が困難である。また、携帯電話の限られた画面領域では、ウェブページを見やすく表示することが難しい。

【0003】

そこで、ユーザにとってウェブブラウザを操作しやすくするため、様々な技術が提供されており、その一例としてIP3と呼ばれる技術が挙げられる。この技術は、商品情報や検索結果を画像データに埋め込んだり、埋め込んだ情報を取り出すことを可能にする。また、infoseek（登録商標）など画像検索が可能な検索サービスも提供されている。このサービスでは、検索結果がアイコンで表示されるので、ユーザは欲しい情報を直感的に選択することができる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

このような状況をふまえると、今後オンラインショッピングサービスにおいて、商品情報をアイコン化または画像化して表示したもの（以下、商品アイコンという）がインターネット上を流通すると予想される。

【0005】

一方、インターネット上では、ユーザ間での情報の共有形態が多様に提供され

ている。情報の共有形態としては、例えばメーリングリストや電子掲示板が挙げられる。また、同じウェブページを見ているユーザ同士が文字ベースでチャットできるソフトウェア、例えばgoeeyなども提供されている。さらに、ユーザが仮想的な電子会議室に入室し、同じ部屋にいるユーザとチャットできるシステム、例えばIRCやウェブチャットも提供されている。

## 【 0 0 0 6 】

Goeyの例を取れば、同じウェブページを見ている人とチャットをすることで、同じ趣味や目的を持った人との情報共有が可能になり、情報収集や友達作りを効果的に行うことができる。しかし、ウェブページ単位の情報共有の場合、ウェブページに訪れるユーザの目的の範囲が広いため、必ずしも各ユーザそれぞれの目的にあったチャットができるとは限らない。同様の問題は、他の情報の共有形態においても生じている。

## 【 0 0 0 7 】

本願発明は、ネットワークサービスを介して、共通の目的を有するユーザを同一の情報共有の場に誘導し、ユーザ同士の効率的なコミュニケーションを促進することを目的とする。

## 【 0 0 0 8 】

## 【課題を解決するための手段】

本願発明は、前記課題を解決するために、ネットワークから同一の商品アイコンをダウンロードしたユーザ同士が、情報を容易に共有できるようにする。商品アイコン単位で情報共有の場を提供することにより、ユーザの目的に合致した、かつ効率的な情報収集を可能にする。

## 【 0 0 0 9 】

具体的には、本願第1発明は、ユーザ端末がネットワーク上の仮想空間を共有して行う通信を仲介するための通信仲介方法であって、

A：前記ユーザ端末にネットワークリソースの表象を持たせ、

B：前記仮想空間の識別子と前記表象の識別子とを対応付けた対応テーブルを予め準備し、

C：前記ユーザ端末と通信可能であり、かつ前記表象の識別子と仮想空間の識別



子とを、前記対応テーブルに基づいて変換可能な仲介端末を設け、

D：前記ユーザ端末から前記仲介端末に、前記表象の識別子を送信し、

E：前記仲介端末から前記ユーザ端末に、前記表象に対応する仮想空間の識別子  
を通知し、

F：前記ユーザ端末は、前記通知された仮想空間の識別子に基づいて前記仮想空  
間に参加し、同一の表象を有する他のユーザ端末との通信を開始する、

通信仲介方法を提供する。

#### 【 0 0 1 0 】

このシステムは、ユーザ端末と通信サーバと仲介端末とがネットワークで接続  
されて構成される。通信サーバはネットワーク上の仮想空間を提供している。こ  
のサーバの例としては、メーリングリストにおける電子メールサーバ、ウェブチ  
ャットにおけるWWWサーバ、IRC(Internet Relay Chat)におけるIRCサ  
ーバを挙げることができる。

#### 【 0 0 1 1 】

ネットワークリソースの表象とは、例えばネットワーク上で販売される商品を  
表すアイコンや、ネットワーク上での検索結果を示すアイコンである。以下では  
、商品アイコンを例に取り説明する。ユーザ端末は、ネットワーク上のショッピ  
ングサイトや商品提供者のホームページから商品アイコンをダウンロードするこ  
とにより、これを所有することができる。

#### 【 0 0 1 2 】

商品アイコンを有するユーザは、同じアイコンを有する他のユーザと通信した  
い場合、予め準備されているボタンを押す。例えばユーザは、ウェブチャットを  
したい場合、ウェブチャットボタンを押す。すると、商品アイコンの識別子が仲  
介端末に送信され、これに対応するウェブチャット用URLがユーザ端末に返さ  
れる。このURLは、通信サーバが提供するウェブチャット用ウェブページのU  
RLである。ユーザ端末は、受信したURLにアクセスし、同じ商品アイコンを  
持つ他のユーザとチャットを開始する。チャットの開始処理は、ユーザ端末にイ  
ンストールされているWWWブラウザにより行われる。

#### 【 0 0 1 3 】

なお、商品アイコンの識別子としては、ショッピングサイトの提供者が商品アイコンに付与する通し番号や、アイコン提供者が商品アイコンを格納している場所を示すURLを挙げることができる。

## 【 0 0 1 4 】

本願第2発明は、ネットワーク上のユーザ端末間の通信を仲介するための仲介装置であって、前記ユーザ端末が参加して互いに通信する仮想空間の識別子；ネットワークリソースの表象の識別子とを対応付けて記憶する対応テーブル；前記ユーザ端末から前記表象の識別子を受信する第1受信手段；前記対応テーブルに基づいて、前記受信した表象に対応する仮想空間の識別子を、前記ユーザ端末に送信する第1送信手段；を有する仲介装置を提供する。

## 【 0 0 1 5 】

この装置は、前記第1発明における仲介端末に相当する。

本願第3発明は、前記対応テーブルが、前記仮想空間の識別子と、前記表象の識別子と、前記表象に対する興味の度合いと、を対応付けて記憶している前記第4発明に記載の仲介装置を提供する。この装置では、前記第1受信手段は、前記ユーザ端末から、前記表象の識別子及び前記興味の度合いを受信する。また、前記第1送信手段は、前記対応テーブルに基づいて、前記受信した表象の識別子と興味の度合いとの組み合わせに対応する仮想空間の識別子を、前記ユーザ端末に送信する。

## 【 0 0 1 6 】

興味の度合いとは、例えば「興味があるが購入までは考えていない」、「購入したい」、「興味がない」などである。

本願第4発明は、ネットワーク上のユーザ端末に用いられる通信プログラムが記録されたコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、ネットワークを介してネットワークリソースの表象を取得し選択可能に表示するステップと、ユーザにより選択されたネットワークリソースの表象の識別子を仲介装置に送出するステップと、仲介装置において予めネットワークリソースの表象と仮想空間が対応付けられて記憶されている対応テーブルに基づいて送出したネットワークリソースの表象の識別子に対応する仮想空間の識別子を受信するステップと、受信した

仮想空間に識別子に基づいて当該仮想空間に接続し会話を開始するステップと、を含むことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体を提供する。

## 【0017】

本願発明5は、商品情報交換支援方法であって、予め商品と商品に関する情報を交換する仮想的な会話空間とを対応付けた対応テーブルを用意しておき、商品を識別可能に表示するために商品毎に用意される表象をネットワークを介してユーザ端末に選択可能に提示し、ユーザ端末において選択された商品の表象を識別し、前記対応テーブルに基づいて当該商品に対応付けられている仮想的な会話空間を識別するための情報を取得してユーザ端末に通知し、ユーザ端末において他のユーザ端末と当該商品に関する情報の交換を開始することを可能とすることを特徴とする商品情報交換支援方法を提供する。

## 【0018】

## 【発明の実施の形態】

## ＜発明の概要＞

前述したように、同じウェブページを見ているユーザ同士が情報を共有できるのは、ウェブページのURL(Uniform Resource Locator)を、情報共有のための場、言い換えれば会話のための仮想空間を表わす識別子として用いることにより、ユーザ間の接続を確立できるからである。そこで、本発明者は、共通の目的を有するユーザ同士での会話を可能にするために、同一のネットワークリソースの表象を有するユーザ同士を、同一の仮想空間に誘導することに想到した。以下の例では、ネットワークリソースとして、オンラインで販売される商品情報を例に取る。

## 【0019】

しかし、ユーザ端末にダウンロードされ保存される商品アイコンに、URLなどの識別子を予め付加しておくことは困難である。また、たとえ付加できたとしても、次のような問題がある。すなわち、サービス提供者、例えばショッピングサイト上で商品を販売するサービス提供者は、自分が提供する商品アイコンのURLを変更したい場合がしばしばある。サービス提供者は、ショッピングサイト上の商品アイコンのURLを変更することはできるが、ユーザ端末にすでにダウ

ンロードされた商品アイコンに付加されたURLを変更することはできない。

【0020】

そこで、本発明では仲介サーバを提供する。この仲介サーバは、商品アイコンを特定するための識別子と、会話のための仮想空間の識別子との変換を行う。ある商品アイコンを取得したユーザ端末が商品アイコンの識別子を仲介サーバに通知すると、その商品アイコンに対応する仮想空間の識別子がユーザ端末に返される。ユーザは、この仮想空間に参加することにより、商品単位で情報を共有することができる。しかも、商品アイコンと仮想空間との対応が変動しても、商品アイコンを有するユーザを最新の対応付けに従って適切な仮想空間に誘導することができる。

【0021】

また、同じ商品アイコンをダウンロードしているユーザであっても、その商品アイコンに対する興味の度合いが異なれば、お互いの会話が成立しにくい。そこで、本発明では、商品アイコンの配置に応じてその商品に対する興味の度合いを仲介サーバ側に通知するユーザインターフェイス（UI）を、ユーザ端末側に設けておく。そのUIにより抽出された興味の度合いと、商品アイコンの識別子とを仲介サーバに送ることにより、より近い目的を持つユーザ同士での情報共有が可能になる。興味の度合いとしては、以下の実施形態例では、「興味（興味がある）」、「購入（購入したい）」、「ゴミ箱（興味がなくなった）」の3段階を挙げている。

【0022】

さらに、本発明では、適切な仮想空間で会話するユーザ同士が互いに、自己の商品アイコンを公開したり、コピーしたりすることを可能とする。これにより、商品アイコンの流通を促進することができる。ひいては、その商品アイコンを広くインターネットユーザの間に普及せしめ、商品アイコン提供者が有効な広告やマーケティング活動を行うことができる。

【0023】

<第1実施形態例>

[構成]

### (1) 全体構成

図 1 は、第 1 実施形態例に係る通信仲介システムの全体構成図である。本システムは、ユーザ端末 1 と、仲介サーバ 2 と、通信サーバ 3 と、店舗サーバ 4 とが、インターネットにより接続されて構成されている。

#### 【 0 0 2 4 】

ユーザ端末 1 は、通信サーバ 3 を介して他のユーザ端末と仮想空間を共有し、互いに会話可能である。また、ユーザ端末 1 は、店舗サーバ 4 が提供する商品アイコン（ネットワークリソースの表象）をダウンロード可能である。

#### 【 0 0 2 5 】

仲介サーバ 2 は、商品アイコンの識別子を会話のための仮想空間の識別子に変換し、ユーザ端末 1 に通知する。

通信サーバ 3 は、ユーザ端末 1 が会話するための仮想空間を提供する。通信サーバ 3 の具体例としては、メーリングリストサーバ、WWWサーバ、IRCサーバなどを挙げることができる。

#### 【 0 0 2 6 】

店舗サーバ 4 は、インターネット 5 上のショッピングサイトで商品アイコンを提供している。商品アイコンには、インターネット上で販売される商品に関する情報や仮想空間の識別子が付加されている。なお、商品アイコンは、店舗サーバ 4 上でショッピングサイトを提供するサービス提供者や、店舗サーバ 4 上で商品を販売する商品提供者により提供される。

#### 【 0 0 2 7 】

以下において、会話のための仮想空間として、ウェブチャットにおけるウェブページを例に取り説明する。この場合、仮想空間の識別子としては URL が用いられる。

#### 【 0 0 2 8 】

### (2) ユーザ端末

ユーザ端末 1 は、アイコン DB 1 1、プリファレンス DB 1 2、取得部 1 3、プリファレンス部 1 4、URL 要求部 1 5、接続部 1 6、表示部 1 7、通信クライアント 1 8、WWW ブラウザ 1 9 及び通信処理部 1 1 0 を有している。

## 【0029】

これらの機能のうち、通信クライアント18は、ネットワーク上の仮想空間に参加して他のユーザ端末と通信を行うための機能である。通信クライアント18としては、例えばウェブチャットのためのWWWブラウザ、IRCのためのIRCクライアント、メーリングリストのための電子メール装置を挙げることができる。

## 【0030】

WWWブラウザ19は、店舗サーバ4が提供するショッピングサイトにアクセスし、これを取得する機能を有する。

また、取得部13は、商品アイコンを店舗サーバ4からダウンロードするための機能であり、表示部17はダウンロードしたアイコンをユーザのショッピングカートの中身として表示する機能である。通常、これらの機能は、WWWブラウザ19によりショッピングサイトにアクセスすると、Flash、JAVA Appletプログラム、その他plug-inプログラムがユーザ端末側で実行されることにより実現される。

## 【0031】

次に、各部の機能について順次説明する。まず、アイコンDB11及びプリファレンスDB12に蓄積される情報について説明する。図2は、アイコンDB11に蓄積される情報の概念説明図である。アイコンDB11には、アイコンID（表象の識別子）及びアイコンデータのアドレスが蓄積されている。「アイコンID」は、商品アイコンを一意に特定するための識別子である。この識別子は、店舗サーバ4の提供者により、各商品アイコンに付与されるのが通常である。「アイコンデータ」には、商品アイコンデータが格納されているアドレスが記述される。商品アイコンデータには、商品アイコンの画像データや商品情報などが含まれる。

## 【0032】

図3は、商品アイコンデータのフォーマットの一例である。商品アイコンデータには、アイコンの定義、アイコン外観属性、商品関連情報、Push情報、機能が含まれている。「アイコンの定義」には、商品アイコンの提供者、有効期限など

が記述される。「アイコン外観属性」には、アイコンの大きさや画像ファイルのアドレスが記述される。「商品関連情報」には、商品名、価格その他の情報が記述される。「Push情報」には、商品アイコンを取得したユーザ端末に、アイコンに関する最新の更新情報を提供しているサーバのアドレスが記述される。「機能」には、商品アイコンとともに表示させるボタンの機能が記述される。本システムにおいては、会話を開始するためのボタン（以後、「Chatボタン」という）の表示とボタンがユーザによって操作された際に発行するコマンドが記述されている（後述する図9参照）。

#### 【0033】

図4は、プリファレンスDB12に蓄積される情報の概念説明図である。後述するように、このDB12に蓄積された情報は、商品アイコンに対するユーザの好みの度合いを算出するのに用いられる。このDB12には、アイコンID、区分（興味の度合い）、座標値、配置時刻、保存時刻が蓄積されている。「アイコンID」は前記アイコンDB11と同様である。「区分」には、商品に対するユーザの興味の度合いを示す所定の値が記述される。本例では、所定の値として、「興味」、「購入」、「ゴミ箱」のいずれかが記述される。「座標値」には、表示部17により表示されるショッピングカート内での商品アイコンの位置が記述される。「配置時刻」には、商品アイコンが最後に操作された日時が記述される。「保存時刻」には、ショッピングカートの最新の保存日時が記述される。以後、座標値、配置時刻、保存時刻をまとめてプリファレンスデータと言う。

#### 【0034】

取得部13は、前述したように、商品アイコンを店舗サーバ4からダウンロードし、アイコンDB11に格納する。

プリファレンス部14は、取得された商品アイコンに対するプリファレンスデータを表示部17から取得し、プリファレンスDB12に格納する。

#### 【0035】

URL要求部15は、ユーザからの指示に基づいて、アイコンID、区分及びプリファレンスデータを仲介サーバ2に送信し、商品アイコンに対応する仮想空間の識別子を取得する。

【 0 0 3 6 】

接続部 1 6 は、通信クライアント 1 8 を起動し、仲介サーバ 2 から取得した仮想空間における通信を開始させる。

表示部 1 7 は、前述したように、取得された商品アイコン及びショッピングカートを表示部に表示する。さらに、表示部 1 7 は、ユーザの操作に応じて、ディスプレイなどの出力部から（図示せず）から前記プリファレンスデータを取得する。

【 0 0 3 7 】

通信処理部 1 1 0 は、インターネット 5 との間でデータの送受信を行う。

（ 3 ） 仲介サーバ

仲介サーバ 2 は、対応 DB 2 1、ユーザ DB 2 2、DB アクセス部 2 3、変換部 2 4 及び通信処理部 2 5 を有している。

【 0 0 3 8 】

図 5 は、対応 DB 2 1 に蓄積される情報の概念説明図である。この DB 2 1 には、アイコン ID、区分、好みのレベル（好みの類似度）及び仮想空間 ID が、対応付けられている。すなわち、アイコン ID、区分及び好みのレベルの組み合わせにより、ユーザをどの仮想空間に誘導するかが決定される。なお、対応 DB 2 1 には、少なくともアイコン ID 及び仮想空間 ID が蓄積される。区分や好みのレベルは、ニーズに応じて対応 DB に蓄積すればよい。

【 0 0 3 9 】

「アイコン ID」及び「区分」は前述と同様である。「好みのレベル」は、ユーザがどのくらい商品アイコンを気に入っているかを示す。この例では、10 のレベルが設定されている。好みのレベルの算出は、ユーザ端末 1 からアイコン ID とともに送信されるプリファレンスデータに基づいて行われる。「仮想空間 ID」には、会話のための仮想空間を特定する識別子、この例では URL が記述される。仮想空間 ID の例としては、ウェブチャットにおけるウェブページの URL、IRC におけるチャンネル名、メーリングリストにおける電子メールアドレスが挙げられる。

【 0 0 4 0 】



図6は、ユーザDB22に蓄積される情報の概念説明図である。このDB22には、ユーザID及び個人情報が蓄積される。「ユーザID」とは、本システム上でユーザを特定するための識別子である。ユーザIDとして、本システムとは独立な通信システム上でユーザを特定するための通信IDを用いても良い。例えば、メーリングリスト上のメールアドレスやIRC上のニックネームを、ユーザIDとして代用することが挙げられる。「個人情報」とは、ユーザに関する所定の情報であり、この例では通信IDである。この他に、ユーザの氏名、住所、性別、年齢、趣味などを、ニーズに応じて蓄積することもできる。

#### 【0041】

DBアクセス部23は、対応DB21及びユーザDB22を更新する。

変換部24は、対応DB21に基づいて、アイコンIDを仮想空間IDに変換する。また、変換部24は、プリファレンスデータに基づいて、好みの度合いを算出する。

#### 【0042】

通信処理部25は、インターネット5との間でデータの送受信を行う。

#### 〔処理〕

図7は、本システムにおける通信仲介処理の流れについて説明する。以下、説明を容易にするために、ユーザ端末間の会話をウェブチャットで行う場合を例に取る。

#### 【0043】

まず、ユーザ端末1は、取得部13により、店舗サーバ4から商品アイコンをダウンロードし、アイコンID及びアイコンデータを取得する(#1)。本システムにおいては、アイコンデータには、会話を開始するための「Chat」ボタンが含まれている(後述する図9参照)。ダウンロードされた商品アイコンは、アイコンDB11に蓄積される(#2)。また、ディスプレイ上でのユーザの操作に応じ、プリファレンス部14は、区分、座標及び配置時刻を、プリファレンスDB12に蓄積する(#2)。

#### 【0044】

商品アイコンを取得後、ユーザは、商品について他のユーザと会話したい場合

、「Chat」ボタンを押す。URL要求部15は、このボタンによる会話開始の指示を受け付ける（＃11）。ついで、URL要求部15は、アイコンID、区分及びプリファレンスデータを、プリファレンスDB12から読み出す（＃12）。さらに、URL要求部15は、通信処理部110を介して、ウェブページのURLを仲介サーバ2に要求する（＃13）。図8に、仲介サーバ2に送信されるデータの構成を示す。この要求には、要求コマンド「GETURL」に加え、アイコンID、区分及びプリファレンスデータが含まれている。

## 【0045】

仲介サーバ2は、前記要求を受信すると（＃14）、対応DB21を参照してURLを決定する（＃15）。まず、変換部24は、プリファレンスデータに基づいて、統計学的算出方法により好みのレベルを10段階のいずれかに決定する。ついで、アイコンIDと区分と好みのレベルとの組み合わせから、いずれかのURLを決定する。変換部24は、決定したURLを、要求元ユーザ端末1に送信する（＃16）。

## 【0046】

ユーザ端末1は、URL要求部15により仲介サーバ2からのURLを受け取る（＃17）。さらに、接続部16は、通信クライアント18を起動し、通信クライアント18に前記URLを渡す（＃18）。これにより、同一の商品アイコンを有するユーザ間の通信が開始される。

## 【0047】

この例では、接続部16は、通信が開始された後に、通信クライアント18からユーザの通信IDを取得し、仲介サーバ2に通知する（＃19）。仲介サーバ2は、各ユーザの通信IDをユーザDB22に格納する。通信IDをユーザ端末1から仲介サーバ2に通知することにより、ユーザDB22に通信IDを自動的に蓄積していくことができる。

## 【0048】

## 〔画面例〕

図9は、ショッピングカート及び商品アイコンの表示例である。この例では、ショッピングカートには、「興味」、「購入」、「ゴミ箱」の各区分が表示され

ている。ユーザは、商品に対する興味の度合いに応じて、適当な区分に商品アイコンを配置する。またこの図では、チャットの相手に自己が所有する商品アイコンを公開するための「公開」ゾーンが設けられている。商品アイコンの公開については、後述する第2実施形態例で詳細に説明する。

【0049】

各商品アイコンに対し、「Chat」ボタン91が表示されている。このボタンを押すことにより、ユーザは同じ商品アイコンを有する他のユーザと、チャットすることができる。

【0050】

#### <第2実施形態例>

第2実施形態例は、前記図9に示したようにショッピングカートに「公開」ゾーンを設け、チャットするユーザ間で商品アイコンを流通させる例を示す。

【0051】

#### [構成]

図10は、第2実施形態例に係る通信仲介システムの全体構成図である。このシステムは、ユーザ端末1にアイコン要求部111が、仲介サーバ2に接続状況DB26が、それぞれ付加されている。その他の構成要素及びその機能は、前記第1実施形態例と同様である。

【0052】

アイコン要求部111は、チャットしている他のユーザが公開している商品アイコンを要求する「アイコン要求」を受け付け、仲介サーバ2を介してそれを送受信する。この要求を受け付けるために、アイコン要求部111は、予め機能ボタンを表示しておく。また、アイコン要求部111は、他のユーザ端末からのアイコン要求に応じ、公開されている商品アイコンを送信する。さらに、アイコン要求部111は、他のユーザが公開している商品アイコンを、チャットの内容とは独立に表示する。

【0053】

図11は、仲介サーバ2の接続状況DB26に蓄積される情報の概念説明図である。このDB26には、ユーザIDと接続状況とが蓄積されている。「接続状

況」には、ユーザ端末が仲介サーバ2と接続しているか否かを示す値が記述される。ここでは、「ONLINE」または「OFFLINE」のいずれかが記述される。

#### 【0054】

変換部24は、前記の機能に加え、ユーザ端末の接続状況に応じて、前記オブジェクト要求や商品アイコンの送信を仲介する。

#### 〔処理〕

図12は、このシステムにおける商品アイコンの流通促進処理の流れを示す。ユーザA（ユーザ端末A）とユーザB（ユーザ端末B）とは、同一のURLに参加してチャットしている。各ユーザ端末には、通信クライアント18により、会話内容及び参加ユーザリストが表示されている。

#### 【0055】

ユーザAは、参加ユーザリストの中からユーザBを選択し、「アイコン取得」ボタンを押す（#31）。このボタンは、アイコン要求部111により表示される。アイコン要求部111は、このボタンによるアイコン要求を受け付け（#32）、仲介サーバ2にこの要求を送信する（#33）。アイコン要求には、ユーザBの通信IDが含まれている。

#### 【0056】

仲介サーバ2は、前記要求を受信すると（#34）、接続状況DB26を参照してユーザ端末Bが仲介サーバ2に接続中か否かを判断する（#35）。接続中でなければ、例えば“現在ユーザBはオフラインです”などのエラーメッセージをユーザ端末Aに返す。接続中であれば、ユーザ端末Bに対し、公開している商品アイコンを要求する（#37）。

#### 【0057】

ユーザ端末Bは、前記要求を受信すると（#38）、公開ゾーンに配置されている商品アイコンID及びそのアイコンデータを仲介サーバ2に送信する（#39）。

#### 【0058】

ユーザ端末Aは、仲介サーバ2を介して前記データを受信し、商品アイコンを会話内容とは独立に表示する（#40、#41）。ついで、商品アイコンを取得

するか否かについて、ユーザからの指示を受け付ける（＃４２）。“取得しない”場合、商品アイコンの表示を消去するなどの処理を行う（＃４３）。“取得する”場合、アイコンＩＤ及びアイコンデータを取得部１３に渡し、商品アイコンの保存を指示する（＃４４）。

【００５９】

〔画面例〕

図１３は、アイコン要求部１１１による表示例を示す。この図において、ウィンドウ１３１は、通信クライアント１８が表示するチャットウィンドウである。チャットの内容はウィンドウ１３２に表示される。参加ユーザリスト１３３及び入力フィールド１３４も、チャットウィンドウ１３１中に表示される。

【００６０】

参加ユーザリスト１３３からユーザ「nick03」が選択され、「アイコン取得」ボタン１３６が押されると、オブジェクトウィンドウ１３５が表示される。このウィンドウ１３５には、ユーザ「nick03」の端末から受信した商品アイコンが表示される。このウィンドウで「もらう」が選択されると、商品アイコンのアイコンＩＤ及びアイコンデータが、アイコンＤＢ１１に格納される。

【００６１】

<その他の実施形態例>

（Ａ）前記実施形態例では、各商品アイコンには、通信システムとして「Chat」しか対応していない。しかし、商品アイコンに対して複数の通信システムを選択可能にしても良い。例えば、図１４では、商品アイコン「ＰＤＡ」に対して複数の通信ボタンがプルダウンメニューの形式で表示される。いずれかを選択すると、選択された通信システムに応じた通信クライアント１８が起動し、通信が開始される。

【００６２】

この場合、対応ＤＢ２１に蓄積される情報の概念説明図を図１５に示す。対応ＤＢ２１には、通信システムの種類に応じた複数の仮想空間を、アイコンＩＤに対応させておく。この図では、アイコンＩＤ「Icon-v101-200v1」に対しては、ウェブチャットのためのＵＲＬ、ＩＲＣのためのチャンネル名、メーリングリスト

のためのメールアドレスの3種類の仮想空間が対応付けられている。

【0063】

対応DB21において、商品アイコン毎に、対応付ける仮想空間の種類を変えることも可能である。例えば、ある商品アイコンにはウェブチャット用URLのみを対応付け、別の商品アイコンにはURL及びチャンネル名を対応付ける。これは、商品の提供者、すなわちネットワークリソースの提供者のニーズや、ショッピングサイトの提供者のニーズに応じて適宜設定すればよい。

【0064】

(B) 前述した本発明の方法を実行するプログラムを記録した記録媒体は、本発明に含まれる。ここで記録媒体としては、コンピュータが読み書き可能なフロッピーディスク、ハードディスク、半導体メモリ、CD-ROM、DVD、光磁気ディスク(MO)、その他のものが挙げられる。

【0065】

<付記>

(付記1)

ユーザ端末がネットワーク上の仮想空間を共有して行う通信を仲介するための通信仲介方法であって、

前記ユーザ端末にネットワークリソースの表象を持たせ、

前記仮想空間の識別子と前記表象の識別子とを対応付けた対応テーブルを予め準備し、

前記ユーザ端末と通信可能であり、かつ前記表象の識別子と仮想空間の識別子とを、前記対応テーブルに基づいて変換可能な仲介端末を設け、

前記ユーザ端末から前記仲介端末に、前記表象の識別子を送信し、

前記仲介端末から前記ユーザ端末に、前記表象に対応する仮想空間の識別子を通知し、

前記ユーザ端末は、前記通知された仮想空間の識別子に基づいて前記仮想空間に参加し、同一の表象を有する他のユーザ端末との通信を開始する、

通信仲介方法。

【0066】

(付記 2)

ネットワーク上のユーザ端末間の通信を仲介するための通信仲介方法であって

前記ユーザ端末が参加して互いに通信する仮想空間の識別子と、ネットワークリソースの表象の識別子とを対応付けて記憶し、

前記ユーザ端末から前記表象の識別子を受信し、

前記記憶されたデータに基づいて、前記受信した表象に対応する仮想空間の識別子を、前記ユーザ端末に送信する、

通信仲介方法。

【 0 0 6 7 】

この方法は、前記第 1 発明における仲介端末に用いられる。

(付記 3)

ネットワーク上のユーザ端末間の通信を仲介するための通信仲介プログラムが記録された記録媒体であって、

ユーザ端末にネットワークリソースの表象を選択可能に表示するステップと、

ユーザ端末の操作に応じて選択されたネットワークリソースの表象の識別子を受信するステップと、

予めネットワークリソースの表象の識別子と仮想空間の識別子とが対応付けられて記憶されてなる対応テーブルに基づいて受信した表象の識別子に対応付けられた仮想空間の識別子を取得するステップと、

取得した仮想空間の識別子をユーザ端末に送出するステップと

を実行するための通信仲介プログラムを記録した、コンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【 0 0 6 8 】

ここで記録媒体としては、コンピュータが読み書き可能なフロッピーディスク、ハードディスク、半導体メモリ、CD-ROM、DVD、光磁気ディスク(MO)、その他のものが挙げられる。

【 0 0 6 9 】

(付記 4)

ネットワーク上のユーザ端末間の通信を仲介するための仲介装置であって、  
 前記ユーザ端末が参加して互いに通信する仮想空間の識別子と、ネットワーク  
 リソースの表象の識別子とを対応付けて記憶する対応テーブルと、  
 前記ユーザ端末から前記表象の識別子を受信する第 1 受信手段と、  
 前記対応テーブルに基づいて、前記受信した表象に対応する仮想空間の識別子  
 を、前記ユーザ端末に送信する第 1 送信手段と、  
 を有する仲介装置。

【 0 0 7 0 】

この装置は、付記 1 に係る発明における仲介端末に相当する。

(付記 5)

前記対応テーブルは、前記仮想空間の識別子と、前記表象の識別子と、前記表  
 象に対する興味の度合いと、を対応付けて記憶しており、

前記第 1 受信手段は、前記ユーザ端末から、前記表象の識別子及び前記興味の  
 度合いを受信し、

前記第 1 送信手段は、前記対応テーブルに基づいて、前記受信した表象の識別  
 子と興味の度合いとの組み合わせに対応する仮想空間の識別子を、前記ユーザ端  
 末に送信する、

付記 4 に記載の仲介装置。

【 0 0 7 1 】

(付記 6)

前記対応テーブルは、前記仮想空間の識別子と、前記表象の識別子と、前記表  
 象に対するユーザの好みの類似度と、を対応付けて記憶しており、

前記第 1 受信手段は、前記ユーザ端末から、前記表象の識別子及び前記好み  
 の類似度を示す所定のプリファレンスデータを受信し、

前記第 1 送信手段は、前記プリファレンスデータに基づいて好みの類似度を算  
 出し、前記対応テーブルに基づいて、前記受信した表象の識別子と好みの類似度  
 との組み合わせに対応する仮想空間の識別子を、前記ユーザ端末に送信する、

付記 4 に記載の仲介装置。

【 0 0 7 2 】



好みの類似度は、例えばディスプレイ上での商品アイコンの配置、商品アイコンを最後に動かした時刻、商品アイコンの保存時刻などから、通常の統計学的計算方法により算出される。

【 0 0 7 3 】

(付記 7)

前記所定のプリファレンスデータには、ユーザ端末上で表示される前記表象の位置情報が含まれている、付記 6 に記載の仲介装置。

【 0 0 7 4 】

位置情報とは、商品アイコンの画面上での位置を示す座標である。例えば、ユーザ端末上で商品アイコンが手前側に表示されている場合、仲介装置は類似度が高いと判断する。

【 0 0 7 5 】

(付記 8)

ネットワーク上のユーザ端末に用いられる通信方法であって、  
ネットワークリソースの表象を取得し、  
他のユーザ端末と通信を行う仮想空間の識別子と前記表象の識別子とを変換可能な所定の情報端末に、前記表象の識別子を送信し、  
前記情報端末から、前記表象に対応する仮想空間の識別子を受信し、  
前記仮想空間の識別子に基づいて前記仮想空間に参加し、同一の表象を有する他のユーザ端末と通信を開始する、  
通信方法。

【 0 0 7 6 】

この通信方法は、前記第 1 発明におけるユーザ端末に用いられる。

(付記 9)

ネットワーク上のユーザ端末に用いられる通信プログラムが記録されたコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、  
ネットワークを介してネットワークリソースの表象を取得し選択可能に表示するステップと、  
ユーザにより選択されたネットワークリソースの表象の識別子を仲介装置に送

出するステップと、

仲介装置において予めネットワークリソースの表象と仮想空間が対応付けられて記憶されている対応テーブルに基づいて送出したネットワークリソースの表象の識別子に対応する仮想空間の識別子を受信するステップと、

受信した仮想空間に識別子に基づいて当該仮想空間に接続し会話を開始するステップと、

を含むことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【 0 0 7 7 】

(付記 1 0)

ネットワーク上で通信するための通信装置であって、

ネットワークリソースの表象を取得する取得手段と、

前記ネットワーク上の仮想空間に参加して他の通信装置と通信を行う通信手段と、

前記仮想空間の識別子と前記表象の識別子とを変換可能な所定の情報端末に、前記表象の識別子を送信する第 2 送信手段と、

前記情報端末から、前記表象に対応する仮想空間の識別子を受信する第 2 受信手段と、

前記仮想空間の識別子に基づいて、同一の表象を有する他のユーザ端末との通信を開始させる接続手段と、

を備える通信装置。

【 0 0 7 8 】

この通信方法は、前記第 1 発明におけるユーザ端末に用いられる。

(付記 1 1)

前記通信装置が取得した表象と、前記表象に対する興味度合いとを、対応付けて記憶するプリファレンステーブルをさらに備え、

前記第 2 送信手段は、前記所定の情報端末に、前記表象の識別子と前記興味度合いとを送信する、付記 1 0 に記載の通信装置。

【 0 0 7 9 】

興味度合いとは、前記第 5 発明における興味度合いと同様である。

(付記12)

前記通信装置が取得した表象と、前記表象に対するユーザの好みの類似度を示す所定のプリファレンスデータとを、対応付けて記憶するプリファレンステーブルをさらに備え、

前記第2送信手段は、前記所定の情報端末に、前記表象の識別子と前記プリファレンスデータとを送信する、付記10に記載の通信装置。

【0080】

好みの類似度とは、前記第6発明における好みの類似度と同様である。

(付記13)

前記所定のプリファレンスデータには、前記ユーザ端末上で表示される前記表象の位置情報が含まれている、付記10に記載の通信装置。

【0081】

(付記14)

ネットワーク上に構築される仮想空間を共有して複数のユーザ端末が相互にメッセージを交換することが可能な会話システムと連携した商品提示方法であって

商品を選択可能に表示するために商品毎に用意された表象をネットワークを介してユーザ端末に選択可能に提示し、

ユーザ端末に表示された表象のうち、ユーザの選択に応じて通知される表象の識別子を受信すると、予め表象の識別子に対応付けられて記憶されている仮想会話空間の識別子を取得してユーザ端末に送出し、

当該ユーザ端末が当該仮想会話空間に接続して他のユーザ端末とメッセージの交換を開始することを可能とすることを特徴とする商品提示方法。

【0082】

(付記15)

商品情報交換支援方法であって、

予め商品と商品に関する情報を交換する仮想的な会話空間とを対応付けた対応テーブルを用意しておき、

商品を選択可能に表示するために商品毎に用意される表象をネットワークを介

してユーザ端末に選択可能に提示し、

ユーザ端末において選択された商品の表象を識別し、

前記対応テーブルに基づいて当該商品に対応付けられている仮想的な会話空間を識別するための情報を取得してユーザ端末に通知し、

ユーザ端末において他のユーザ端末と当該商品に関する情報の交換を開始することを可能とすることを特徴とする商品情報交換支援方法。

【 0 0 8 3 】

(付記 1 6)

コミュニケーション支援方法であって、

予め商品毎に当該商品に興味を持つユーザのみを招待するネットワーク上に仮想的に設営される会話空間を用意し、商品と商品に対応する仮想的な会話空間とを対応づけて記憶する対応テーブルを設けておき、

商品を識別可能に表示するために商品毎に用意される表象をネットワークを介してユーザ端末に選択可能に提示し、

ユーザ端末において選択された商品の表象を識別し、

前記対応テーブルに基づいて当該商品に対応付けられている仮想的な会話空間を識別するための情報を取得して当該ユーザ端末を当該仮想会話空間に招待する命令を発行し、同一商品に興味を持つユーザ同士がコミュニケーションを開始することを特徴とするコミュニケーション支援方法。

【 0 0 8 4 】

【発明の効果】

本発明を利用すれば、共通の関心を有するユーザ同士がネットワーク上で1つの通信の場に誘導されるので、ユーザは効率の良いコミュニケーションを容易に行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

第 1 実施形態例に係る通信仲介システムの全体構成図。

【図 2】

アイコン DB 内のデータの概念説明図。

【図 3】

商品アイコンデータフォーマットの一例を示す説明図。

【図 4】

プリファレンス DB 内のデータの概念説明図。

【図 5】

対応 DB 内のデータの概念説明図。

【図 6】

ユーザ DB 内のデータの概念説明図。

【図 7】

第 1 実施形態例における通信仲介処理の流れを示す説明図。

【図 8】

仲介サーバに送信するデータ例を示す説明図。

【図 9】

商品アイコン及び会話のためのボタンの表示例。

【図 1 0】

第 2 実施形態例に係る通信仲介システムの全体構成図。

【図 1 1】

接続状況 DB 内のデータの概念説明図。

【図 1 2】

第 2 実施形態例におけるアイコンの流通促進処理の流れを示す説明図。

【図 1 3】

公開されたアイコンの表示例。

【図 1 4】

商品アイコン及び会話のためのボタンの別の表示例。

【図 1 5】

対応 DB のデータの概念説明図。

【符号の説明】

1 : ユーザ端末

2 : 仲介サーバ

3 : 通信サーバ

4 : 店舗サーバ

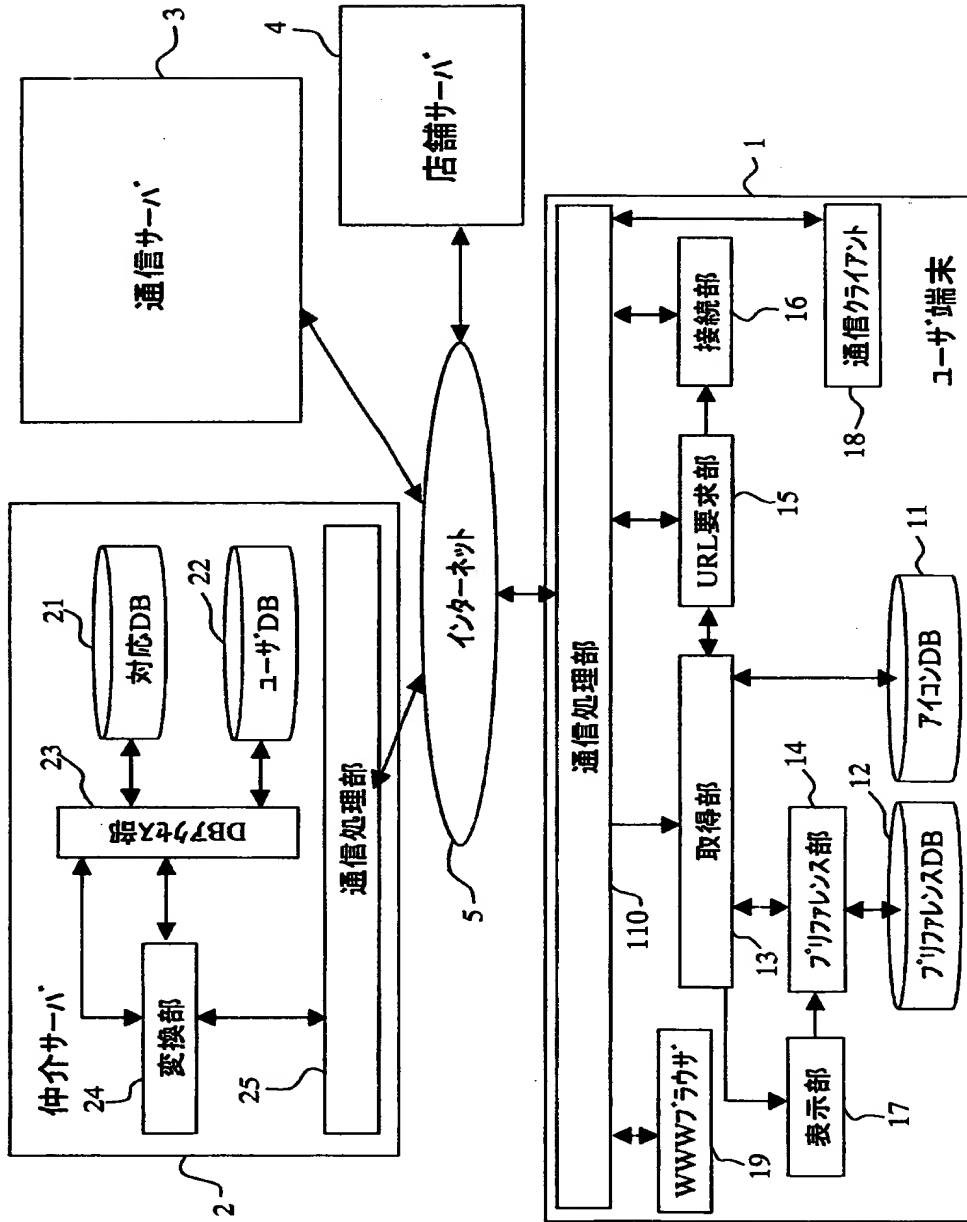
5 : インターネット

【書類名】

図面

【図 1】

第1実施形態例に係る通信仲介システムの全体構成図



【図 2】

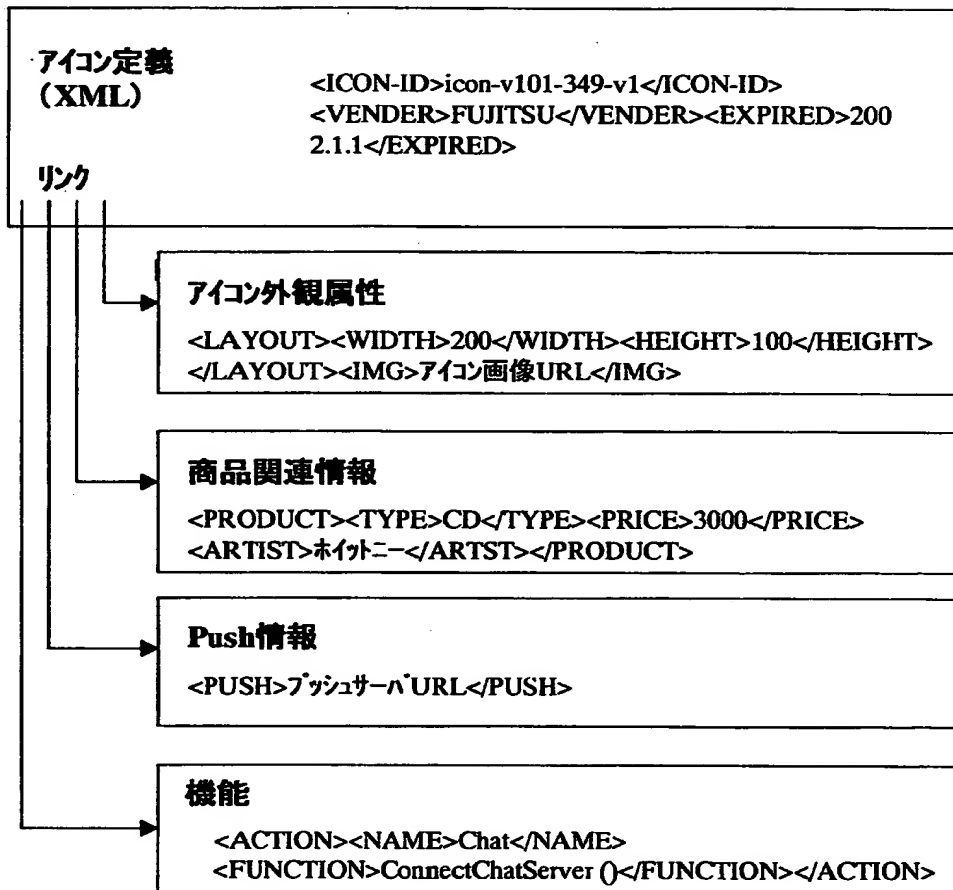
アイコンDBの概念説明図

アイコンID	アイコンデータ
Icon-v101-200v1	C:\user¥icon¥v101.gif
Icon-v213-001-v1.1	C:\user¥icon¥v213.gif
Icon-v310-053-v2	C:\user¥icon¥v310.xml
⋮	⋮



【図 3】

## 商品アイコンデータフォーマットの例



【図4】

プリファレンスDBの概念説明図

アイコンID	区分	座標値	配置時刻	保存時刻
Icon-v101-200v1	興味	(x,y)=150.220	2000.7.1 12:25:39	2000.7.1 13:00:15
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
Icon-v213-001-v1.1	購入	(x,y)=150.320	2000.6.1 19:30:01	2000.7.1 13:00:15
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

【図 5】

対応DBの概念説明図

アイコンID	区分	好みの レベル	仮想空間ID
lcon-v101-200v1	興味	1	xxx1.vender101.co.jp
		2	xxx2.vender101.co.jp
	購入	1	yyy1.vender101.co.jp
		2	yyy2.vender101.co.jp
lcon-v213-001-v1.1	コミ箱	1	zzz1.vender101.co.jp
		2	zzz2.vender101.co.jp
	興味	1	ppp1.vender101.co.jp
		2	ppp2.vender101.co.jp

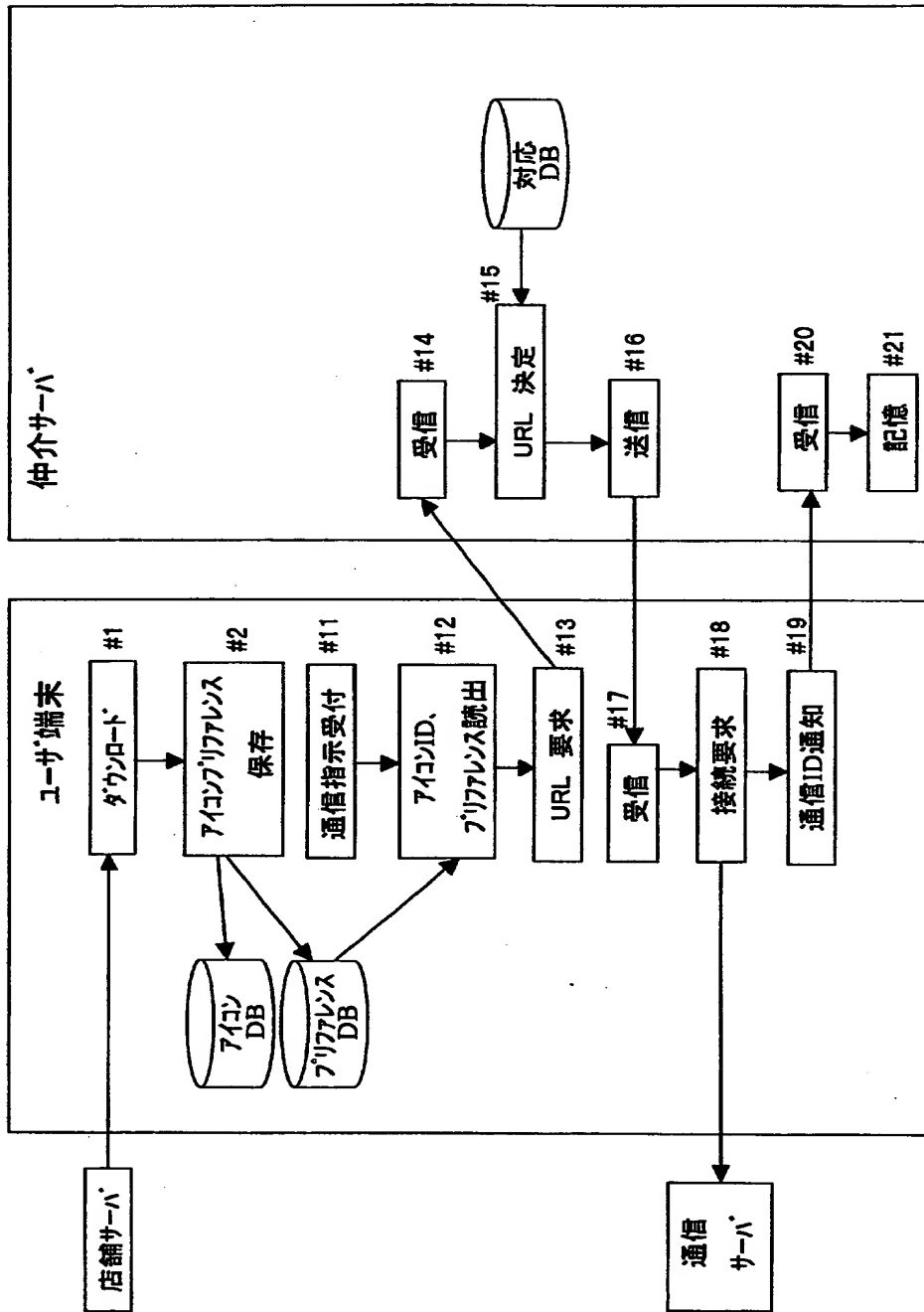
【図 6】

ユーザDBの概念説明図

ユーザID	個人情報
123456	Fujitsu Taro
123457	Nippon Ichiro
123458	Akashi Hanako
⋮	⋮

【図 7】

第1実施形態例における通信仲介処理の流れ

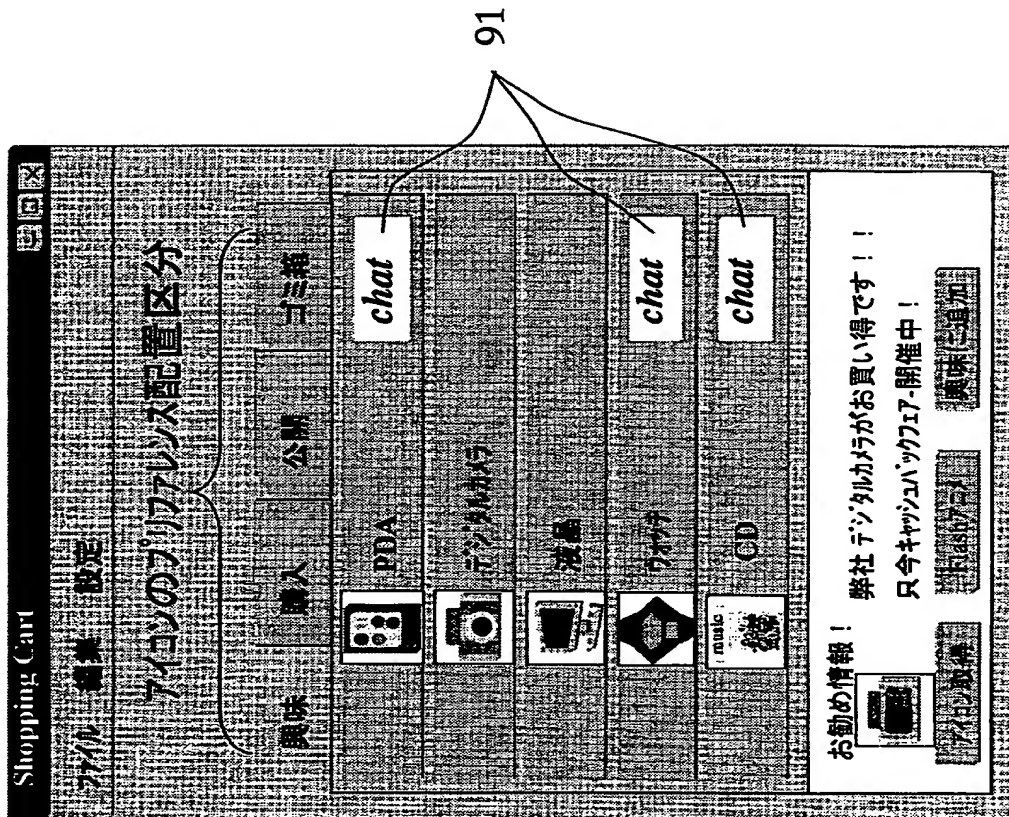


【図 8】

仲介サーバに送信するデータ例

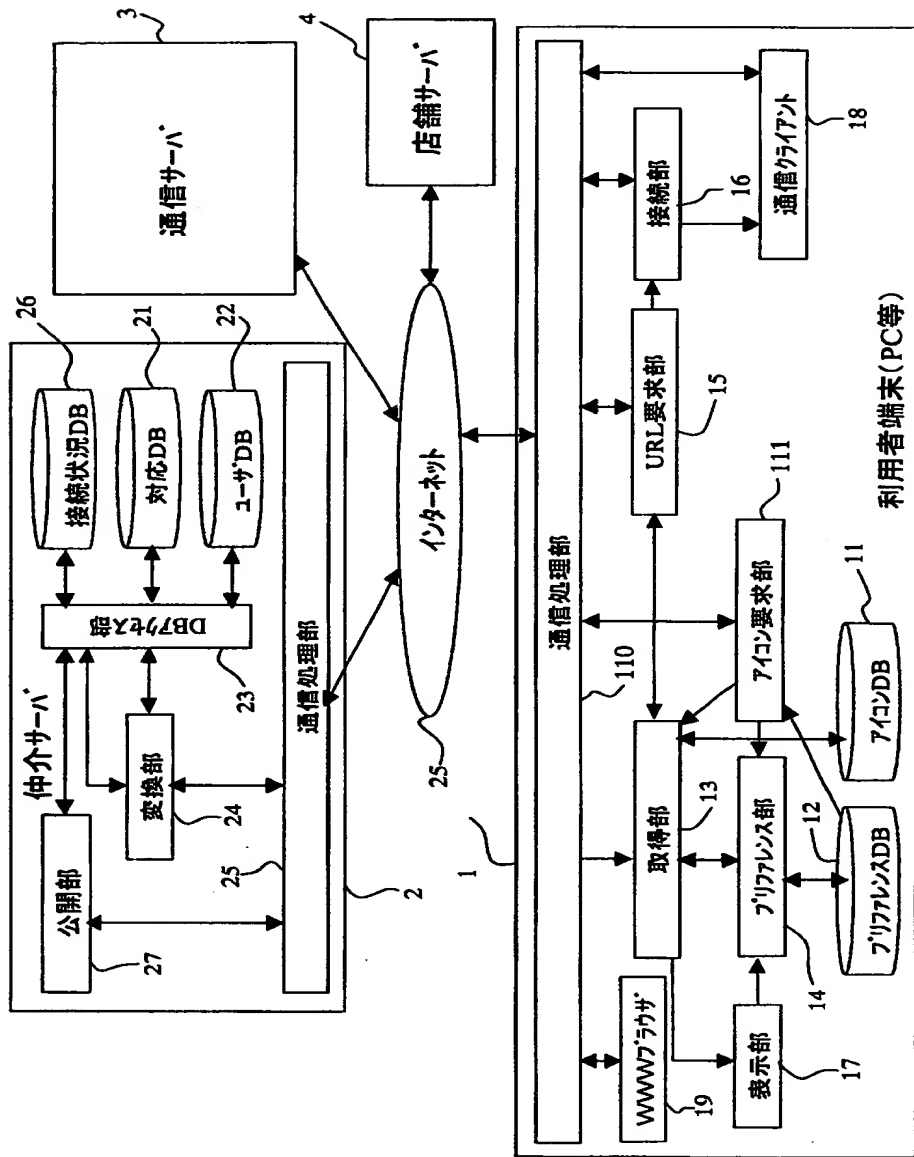
GETURL(要求コマンド文字列)	ユーザID	アイコンID	プリファレンスデータ
-------------------	-------	--------	------------

【図 9】



【図10】

第2実施形態例に係る通信仲介システムの全体構成図





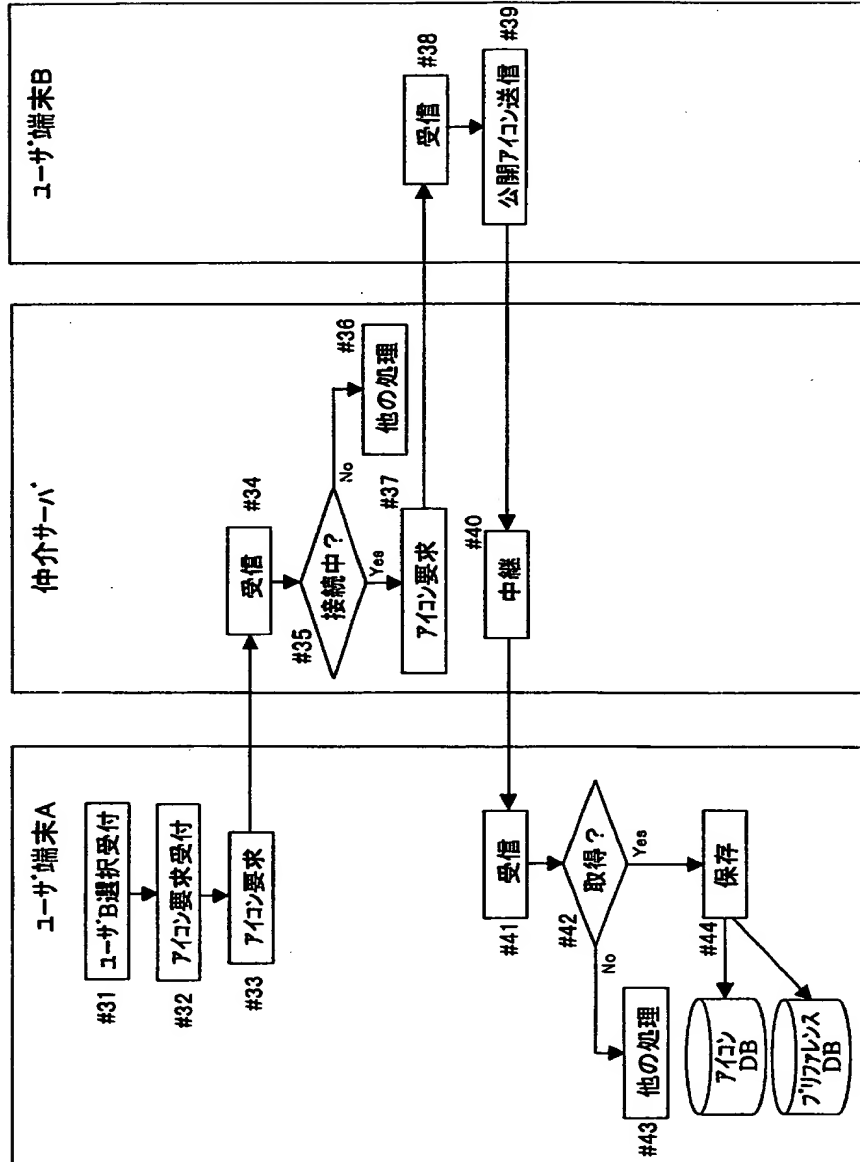
【図 1 1】

**接続状況DB**

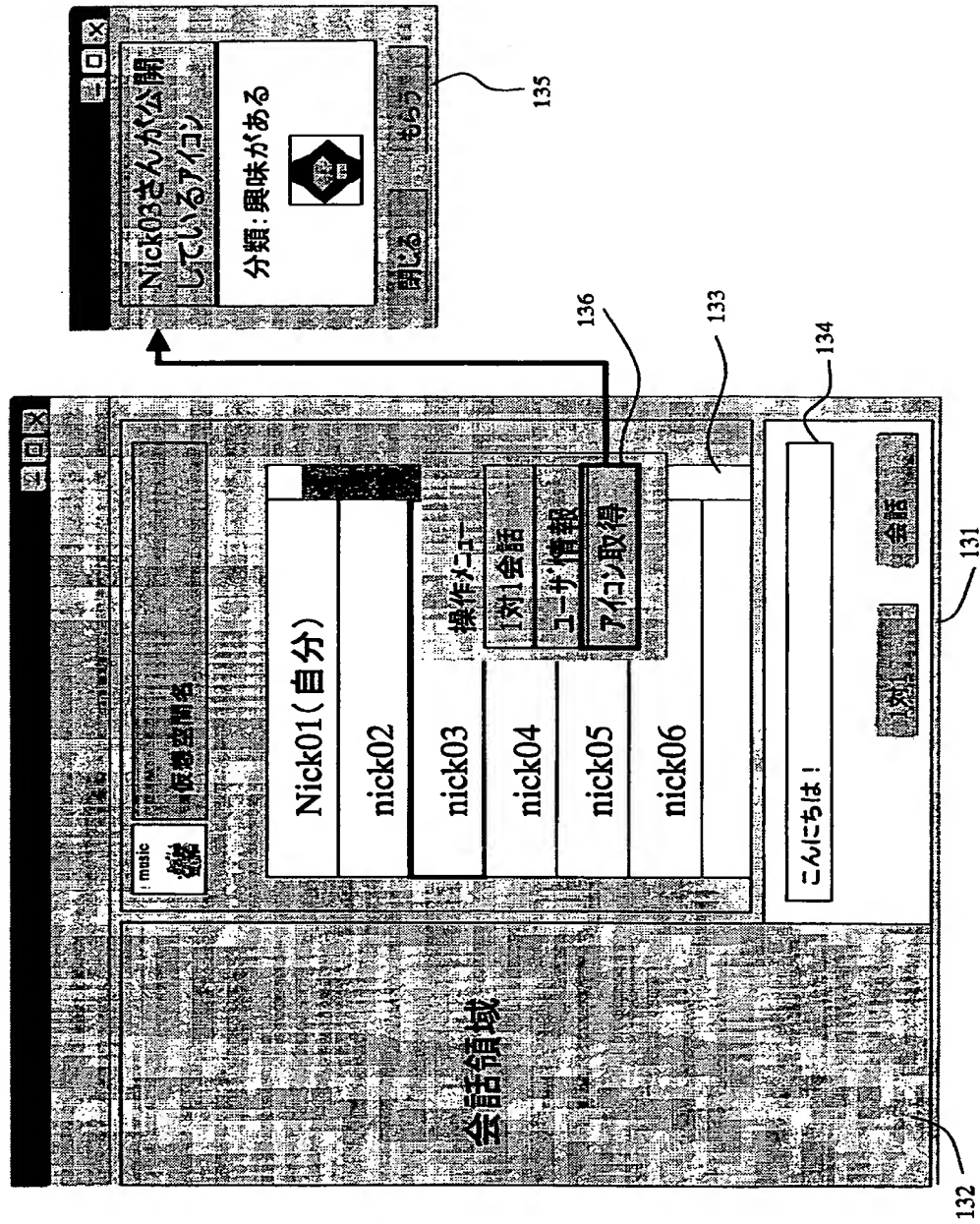
ユーザID	接続状況
123456	ONLINE
123457	ONLINE
123458	OFFLINE
⋮	⋮

【図 1 2】

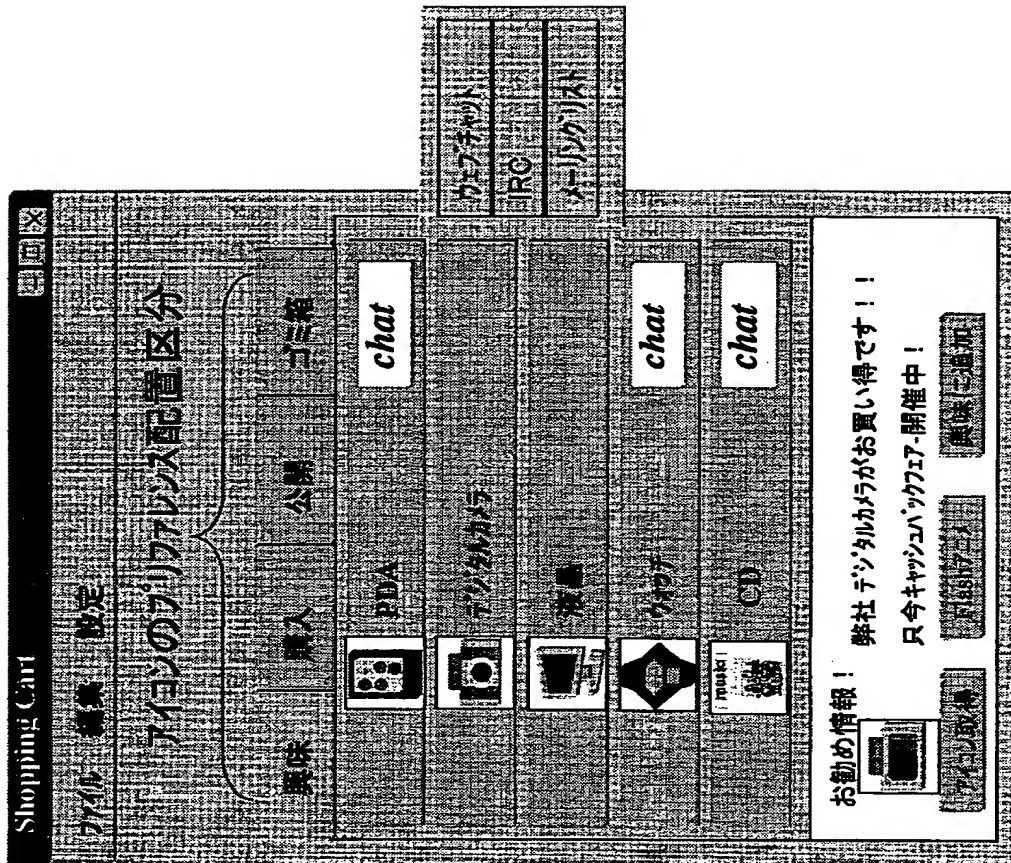
第2実施形態例におけるアイコンの流通促進処理



【図 13】



【図 14】



【図 1 5】

対応DBの概念説明図

アイコンID	区分	好みの レベル	仮想空間ID								
Icon-v101-200vl	興味	1	xxx1.vender101.co.jp #ch-xxx1								
		2	vender101@xxx1.co.jp xxx2.vender101.co.jp #ch-xxx2								
		∴	vender101@xxx2.co.jp ∴	購入	1	yyy1.vender101.co.jp #ch-yyy1	2	vender101@yyy1.co.jp yyy2.vender101.co.jp ∴		∴	∴
	購入	1	yyy1.vender101.co.jp #ch-yyy1								
		2	vender101@yyy1.co.jp yyy2.vender101.co.jp ∴								
	∴	∴									

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ユーザ同士の効率的なコミュニケーションを促進する。

【解決手段】 同一のネットワークリソースの表象を有するユーザ同士を、同一の仮想空間に誘導する。具体的には、商品アイコンのIDと、会話のための仮想空間のIDとの変換を行う仲介サーバ2を提供する。ある商品アイコンを取得したユーザ端末1が商品アイコンIDを仲介サーバ2に通知すると、その商品アイコンに対応する仮想空間のIDがユーザ端末1に返される。ユーザは、この仮想空間に参加することにより、商品単位で情報を共有することができる。すなわち、共通の目的を有するユーザ同士での会話が可能となる。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日 1996年 3月26日

[変更理由] 住所変更

住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

氏 名 富士通株式会社